

# 小平市のみどりに関するアンケート 調査結果

令和元年 12 月

# 目 次

市民団体アンケート調査	1
I. 調査概要	2
1. 調査の目的	2
2. 調査概要	2
II. 調査結果	5
1. 回答者の属性について	5
2. 小平市の緑について	8
3. 小平市の特徴的な緑についての考え方	12
4. 沿道緑化についての考え方	16
5. 公園に対する考え方	22
6. 生物多様性に対する考え方	28
7. 自由回答	31
8. アンケート調査票	33
市民アンケート調査	45
I. 調査概要	46
1. 調査の目的	46
2. 調査概要	46
II. 調査結果	47
1. 小平市のみどりの満足度	47
2. みどりの維持についての市民と行政の関わり方	47

## 市民団体アンケート調査

---

# I 調査概要

---

## 1. 調査の目的

小平市みどりの基本計画の改定の基礎資料とするため、市民団体の環境に関する意識・実態を調査する。

## 2. 調査概要

### (1) 調査概要

#### ①調査対象

小平市でみどりに関係している活動を行なっている団体(下記参照)に所属している方々

・ NPO 法人 東京どんぐり自然学校	4 件
・ 小平市緑と花いっぱい運動の会	2 2 件
・ 小平市野鳥と緑の会	1 件
・ こだいら水と緑の会	2 件
・ 特定非営利活動法人 NPO birth	1 件
・ どんぐりの会	4 件
・ 自生野草を守り育てる会	1 件
・ ちいさな虫や草やいきものたちを支える会	1 件
・ 小平ほたる会	2 件
・ 日本鳴く虫保存会	9 件
・ 一般社団法人 こだいら観光まちづくり協会	2 件
・ 森林を楽しむ会	1 2 件
・ ぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会	2 0 件
・ あじさい公園ビオトープ	4 件
・ 上水くぬ木会	6 件
・ 山王住宅自治会	1 件
・ 南台かしの実会	5 件
・ NPO 法人こだいら自由遊びの会	6 件
・ ツリー・マジック	4 件
・ 公園ボランティア	1 3 1 件
・ オープンガーデン開設者	2 2 件

※ 重複して所属している方がいるため、合計件数と配布数は異なる。

#### ②調査方法

郵送配布・郵送回収

#### ③調査期間

令和元年 10 月 8 日～11 月 15 日

※12 月 7 日到着分まで集計対象とした。

## (2) 調査項目

### 1. 回答者の属性について(問 1- (1) ~ (5) )

### 2. 小平市の緑について

- 2-1. 小平市の自然環境の良い点(問 2)
- 2-2. 小平市で将来にわたって残したい緑(問 3)
- 2-3. 近年の小平市の緑の増減に対する実感 (問 4)
- 2-4. 小平市の緑に望むこと(問 5)
- 2-5. 小平市全体の緑についての満足度(問 6)

### 3. 小平市の特徴的な緑についての考え方

- 3-1. 保存樹木と保存樹林に関する考え方(問 7)
- 3-2. 農地に対する考え方(問 8)
- 3-3. 用水路の保全に関する考え方(問 9)
- 3-4. 用水路の整備・維持に重要と思われる事項(問 10)

### 4. 沿道緑化についての考え方

- 4-1. 沿道の緑を増やすための効果的手法(問 11)
- 4-2. 生垣造成費補助制度についての周知状況(問 12)
- 4-3. 普段の生活の中で行っている緑に関する取組(問 13)
- 4-4. 落ち葉清掃における行政と市民の役割分担(問 14)
- 4-5. 落ち葉清掃への市民の協力のあり方(問 15)
- 4-6. 落ち葉清掃への協力の可能性(問 16)
- 4-7. 「あかしあ通り」をより良くするための取組(問 17)

### 5. 公園に対する考え方

- 5-1. 近隣の公園の利用目的(問 18)
- 5-2. 公園の利用頻度(問 19)
- 5-3. 公園の利用が活発でない理由(問 20)
- 5-4. 公園を利用しやすくするための方策(問 21)
- 5-5. 公園の維持管理方法(問 22)
- 5-6. 公園ボランティアへの参加意思(問 23)
- 5-7. 保全活動や緑化活動に対する支援(問 24)

### 6. 生物多様性に対する考え方

- 6-1. 生物多様性に関する周知状況(問 25)
- 6-2. 生物多様性保全に関する日常的な取組(問 26)
- 6-3. 生物多様性保全に関する重要な取組(問 27)

### (3) 配布・回収状況

配布数	回収数	回収率	集計対象数
257 通	151 通	58.8%	151 通

参考 小平市みどりの基本計画2010策定時の調査

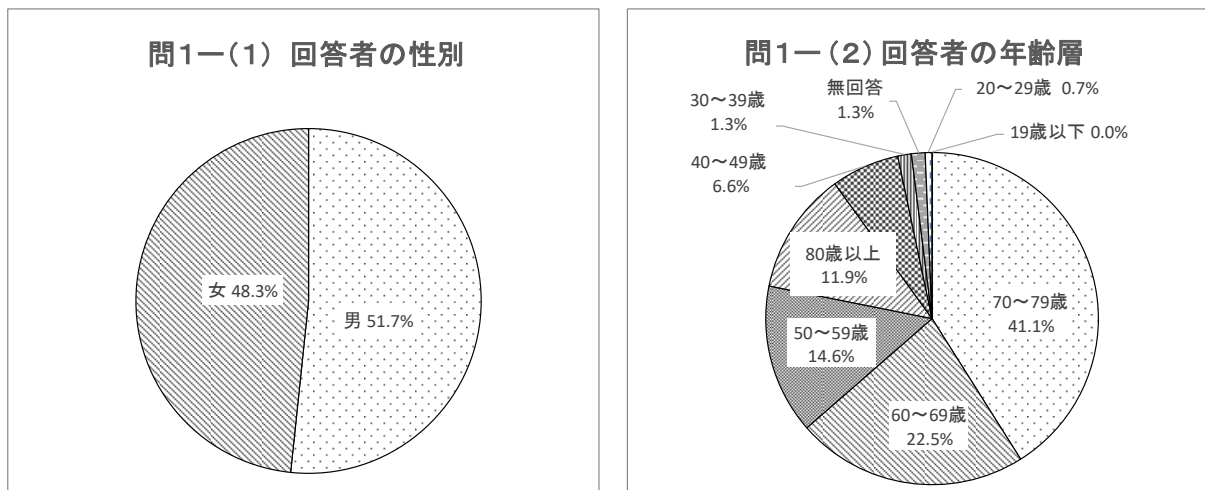
配布数	回収数	回収率	集計対象数
334 通	197 通	59.0%	197 通

#### ■留意点

- 集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを示している。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- 設問指示に従わない回答(単数回答の設問に複数回答している)は無効としている。

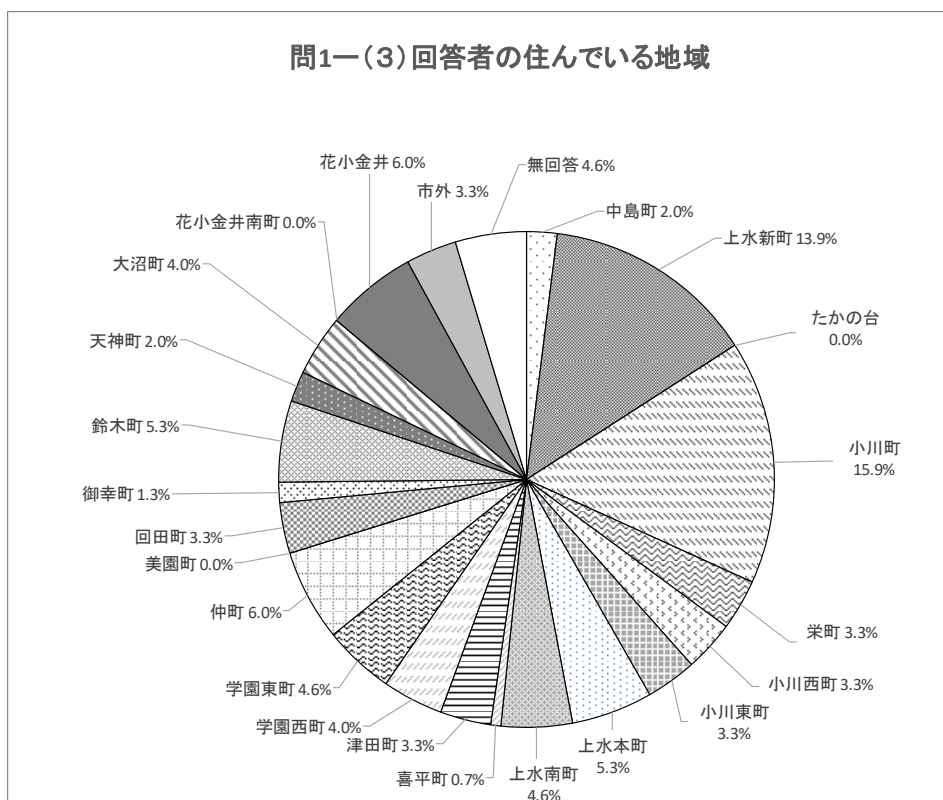


□単純集計



本アンケートは、小平市内でみどりに関する活動に携わっている方々を対象にしている。回答者の男女比は男性の割合が少々高いもののほぼ変わらない。年齢層は70-79歳が約4割と最も多く、この年齢層がボランティア活動を行っている市民のボリュームゾーンであることがうかがえる。一方、10代から40代の各年代の割合は低い。

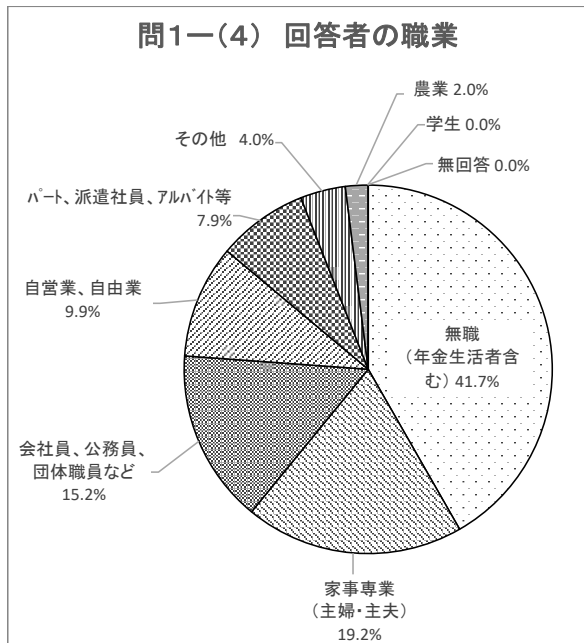
□単純集計



また、回答者の住んでいる地域を町丁別に見ると、小川町に在住者の割合が15.9%と最も多く、次いで上水新町が13.9%となっている。

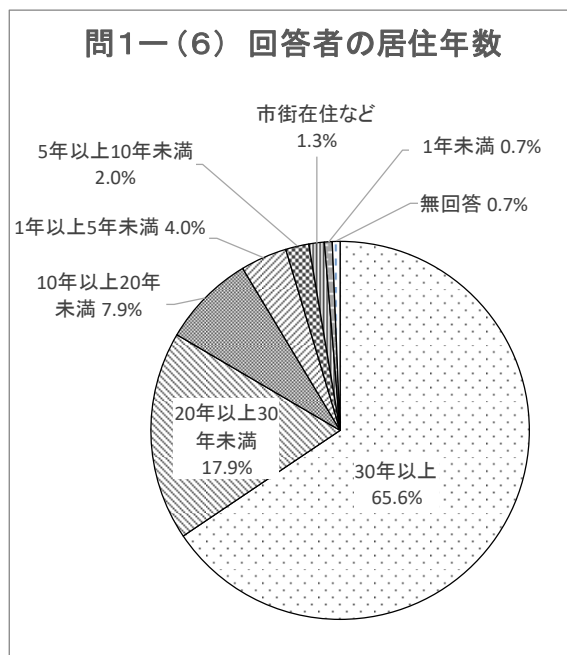
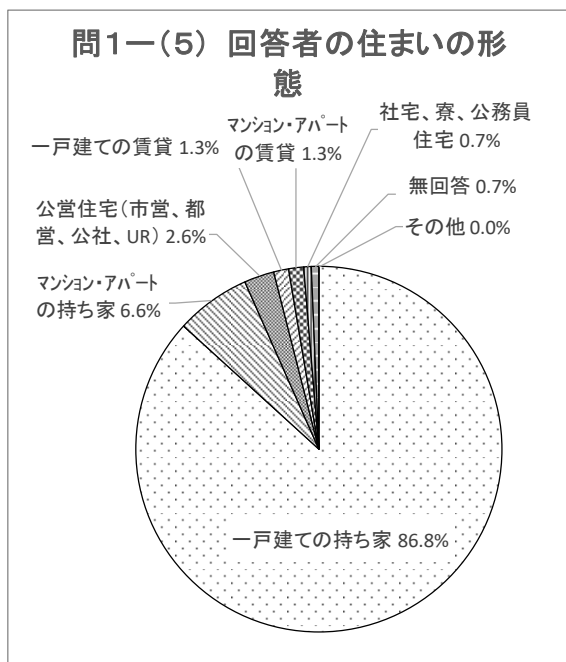


□単純集計



回答者の職業は無職（年金生活者含む）の割合が最も高い。一方、学生が0.0%となっており、問1-（2）の年齢層の結果を裏付けるかたちとなっている。

□単純集計



アンケートの回答者の居住形態は、8割以上が「一戸建ての持ち家」となっており、それ以外はごく低い割合となっている。また、小平市に住んでいる年数は「30年以上」の回答が最も高く、20年以上と合わせると8割を超えており、回答者の大部分は小平市内に長期間住んでいることがうかがえる。

## 2. 小平市の緑について

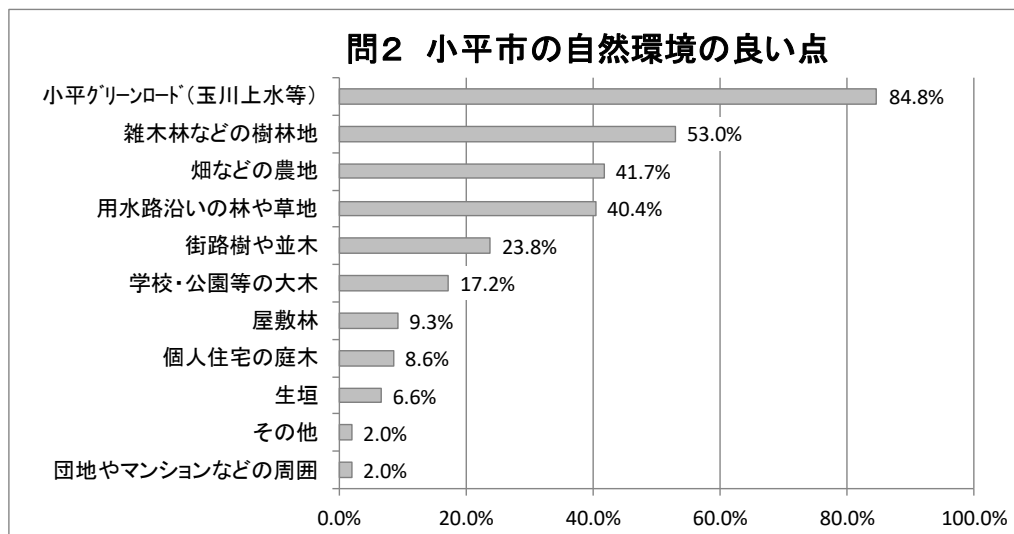
問2～6については、小平市の自然環境の良い点や将来にわたり残したい緑、緑についての満足度など、回答者が日頃感じている緑について広く感じていること等を把握するための質問となっている。

### (1) 小平市の自然環境の良い点

問2 小平市の市政世論調査では、小平市に住み続けたいと答えた人のうち、住み続けたい理由として6割の人が「自然環境が良い」と答えています。あなたが「自然環境が良い」と思うとき、何が強く思い浮かびますか？次の中から、あてはまるものを3つ選んで、その数字に○をつけてください。

- |   |                   |
|---|-------------------|
| 1. 小平グリーンロード（玉川上水など）                                | 2. 屋敷林            |
| 3. 雑木林などの樹林地  | 4. 用水路沿いの林や草地     |
| 5. 畑などの農地   | 6. 生垣             |
| 7. 街路樹や並木   | 8. 学校や公園などの大きな木   |
| 9. 個人住宅の庭の木   | 10. 団地やマンションなどの周囲 |
| 11. その他（    ） |                   |

#### □単純集計



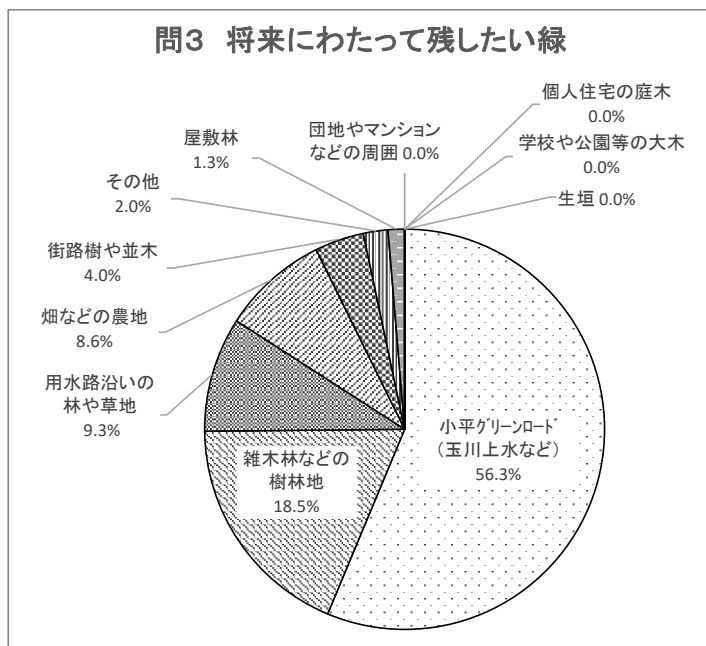
約85%が「小平グリーンロード」を小平市の自然環境の良い点であるとしている。次に続いているのが、「雑木林などの樹林地（53.0%）」、「畑など農地（41.7%）」、「用水路沿いの林や草地（40.4%）」で40%から50%前後の割合となっている。

(2) 小平市で将来にわたって残したい緑

問3 小平市が緑豊かであるためには、どの緑を将来に残していきたい、伝えていきたいと  
 思いますか？ 次の中から、もっとも残していきたい、伝えていきたいと思うものを  
 1つ選んで、その数字に○をつけてください。

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1. 小平グリーンロード（玉川上水など） | 2. 屋敷林            |
| 3. 雑木林などの樹林地         | 4. 用水路沿いの林や草地     |
| 5. 畑などの農地            | 6. 生垣             |
| 7. 街路樹や並木            | 8. 学校や公園などの大きな木   |
| 9. 個人住宅の庭の木          | 10. 団地やマンションなどの周囲 |
| 11. その他（ ）           |                   |

□単純集計



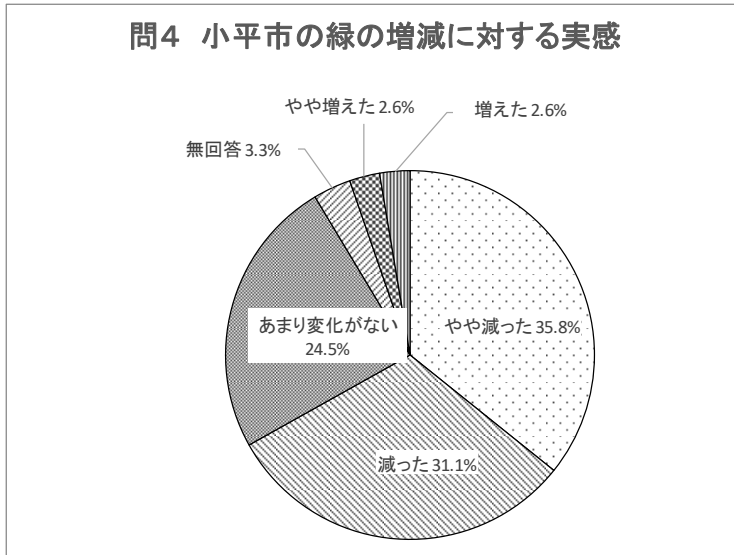
将来にわたって残したい緑は、前述 (1) の「小平市の自然環境の良い点」であげた項目とほぼ重なり「小平グリーンロード」の割合が 56.3%ととりわけ高く、「雑木林などの樹林地 (18.5%)」がそれに続いている。

### (3) 近年の小平市の緑の増減に対する実感

問4 ここ10年くらいで小平市の緑は増えてきていると思いますか？次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

1. 増えた
2. やや増えた
3. あまり変化がない
4. やや減った
5. 減った

#### □単純集計



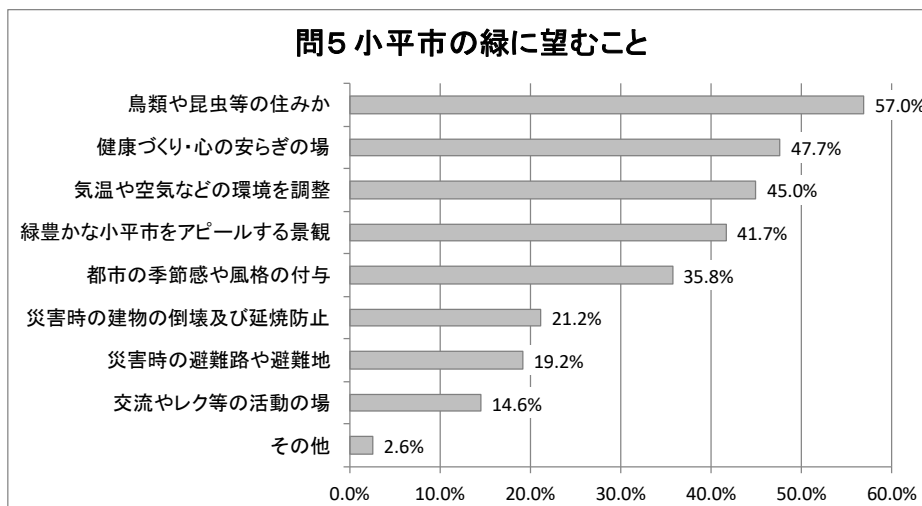
小平市の緑は「増えた」と感じる割合は低く、「やや減った」と感じている割合が約36%と最も高く、それに続いて「減った」と感じる割合が約31%となっている。両者を合計すると67%となり、多くの人が、少なからず市内の緑の量は減っていると感じている。

### (4) 小平市の緑に望むこと

問5 小平市の緑に対して、今後どのようなことを特に望みますか？次の中から、あてはまるものを3つまで選んで、その数字に○をつけてください。

1. 鳥類や昆虫など生物のすみかとなること
2. 都市の気温や空気などの環境を調整すること
3. 都市の季節感や、風格を与えること
4. 緑豊かな小平市をアピールするような景観をつくること
5. 身体・健康づくりや、心の安らぎの場となること
6. 交流やレクリエーションなどの活動の場となること
7. 地震による建物の倒壊を防止したり、火災による延焼を遅延・防止すること
8. 災害時の避難路や避難地となること
9. その他 ( )

□単純集計



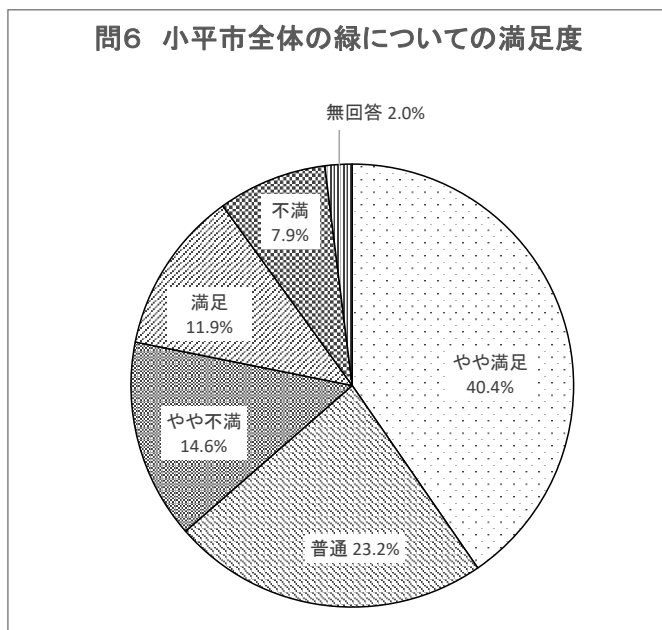
小平市の緑に対して、「鳥類や昆虫など生物の住みかとなること」を望む割合が57%と最も高く、続いて「身体や心の健康づくりや、心の安らぎの場となること」、「都市の気温や空気などの環境を調整すること」、「緑豊かな小平市をアピールするような景観をつくること」が4割以上と高い割合を示している。小平市の緑には、生物多様性保全、健康づくり・心の安らぎの場、気温や空気の環境調整などが期待されていることがうかがえる。

(5) 小平市全体の緑についての満足度

問6 小平市全体の緑について、あなたはどのように思いますか？ 次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

1. 満足      2. やや満足      3. 普通      4. やや不満      5. 不満

□単純集計



約4割が「やや満足」としており、「満足」の回答と合わせると半数以上が、少なからず小平市の緑に満足していることがうかがえる。

### 3. 小平市の特徴的な緑についての考え方

問7～10については、保存樹林・保存樹木、点在する農地、玉川上水をはじめとする用水路といった、小平市を特徴づける緑の現状と保全について、回答者がどのように考えているかを把握するための質問となっている。

#### (1) 保存樹木と保存樹林に関する考え方

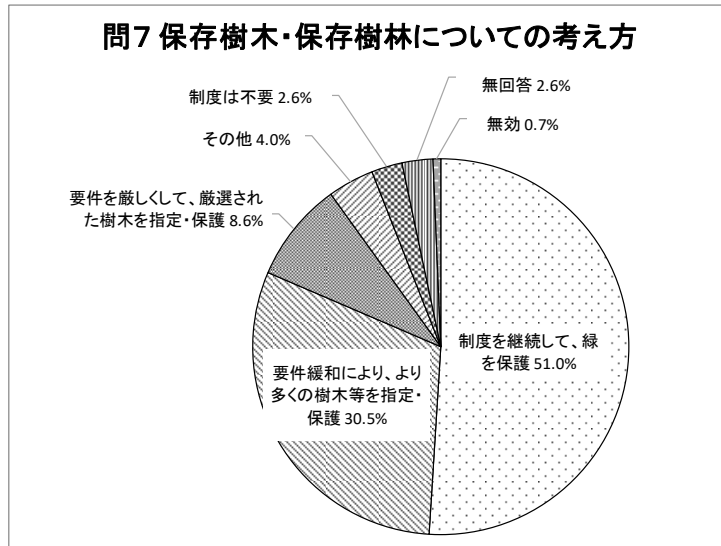
問7 小平市では一定の要件を満たした樹木や樹林等を保存樹木や保存樹林等として指定し、緑を保護しています。あなたは、保存樹木や保存樹林等について、どのようにしたらよいと思いますか？次の中から、あなたの考えに最も近い数字を1つ選んで、その数字に○をつけてください。

※保存樹木 個人が所有している樹木のうち幹周り1.5m以上あり高さ15m程度以上のものを対象

※保存樹林 個人が所有している樹林で、面積が330㎡以上のものを対象

1. 制度を継続して、緑を保護していく
2. 要件を緩和して、より多くの樹木等を指定し保護していく
3. 要件を厳しくして、厳選されたもののみ指定し保護していく
4. 制度がなくても緑の保護は可能なので制度は不要である
5. その他（ ）

#### □単純集計



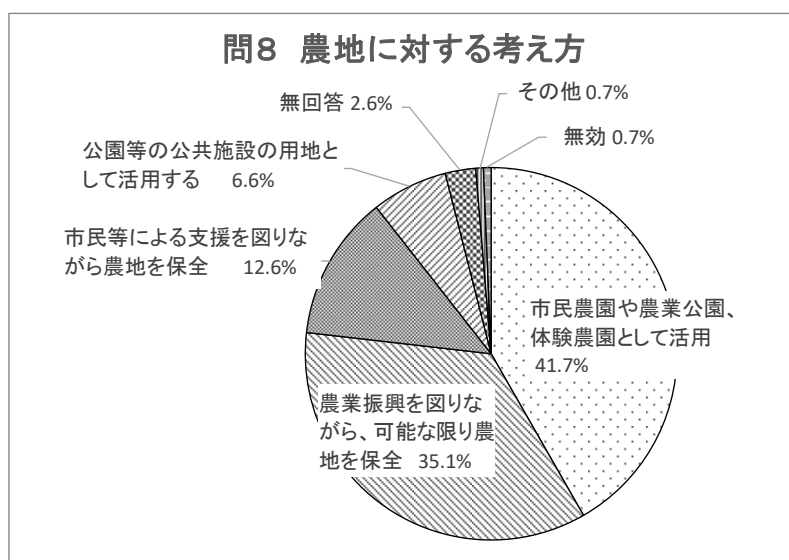
保存樹木・保存樹林については「制度を継続して、緑を保護していく」という現状維持を希望する意見の割合が51.0%と最も高い。次いで「要件緩和により、より多くの樹木を指定・保護する」という意見が30.5%となるなど、多くの方が保存樹木・保存樹林の制度により継続した樹木の保護を期待していることがうかがえる。

## (2) 農地に対する考え方

問8 小平市には、数多くの農地が点在しています。この農地のあり方として、あなたの考えに一番近いものは何ですか？ 次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

1. 市民農園や農業公園、体験農園などとして、市民や観光客等の利用を促進しながら保全活用する
2. 行政支援などによる農業振興を図りながら、可能な限り農地を保全する
3. 援農ボランティアなど市民等による支援を図りながら農地を保全する
4. 公園等の公共施設の用地として活用する
5. その他（ ）

### □単純集計



農地のあり方として、「市民農園や農業公園、体験農園などとして活用」が41.7%と最も高い割合となっている。次点の「農業振興を図りながら可能な限り農地として保全」は35.1%であり、農地の要素を保ちながら活用や保全することを希望する割合が高い。

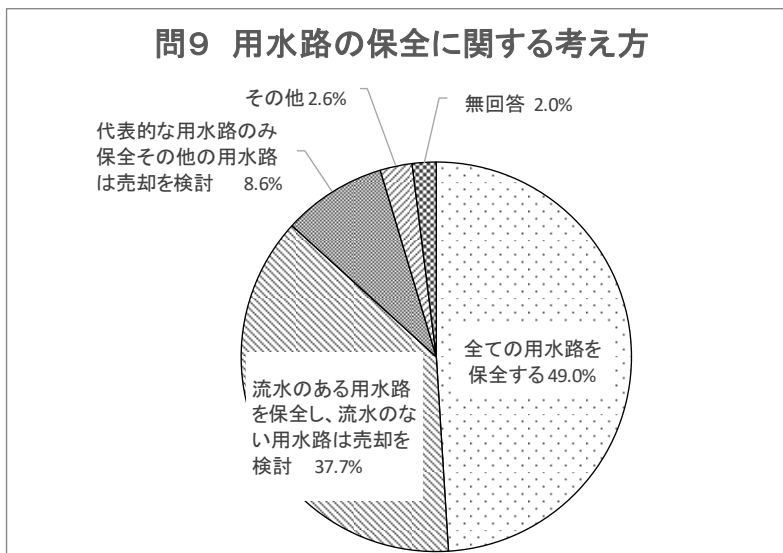
### (3) 用水路の保全に関する考え方

#### □単純集計

問9 小平市内には多くの用水路があり、市では用水路を大切な環境資源として位置づけております。用水路の総延長は約48.9kmとなっており、このうち約33kmにおいて現在も水が流れています。小平市の用水路を保全していくにあたり、限られた予算のなかでは、維持管理や更なる流水の確保などの課題があります。あなたは、用水路を継続して保全していくためには、どのような考え方で進めていくことがよいと思いますか？ 次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

1. 全ての用水路を保全する
2. 流水のある用水路のみ保全し、流水のない用水路については売却などを検討する
3. 代表的な用水路のみ保全し、その他の用水路については売却などを検討する
4. その他（ ）

#### □単純集計



用水路に関しては、約半数（49.0%）が「全ての用水路を保全する」と回答しており、これに「流水のある用水路のみ保全し、流水のない用水路を売却することを検討する（37.7%）」が続いている。

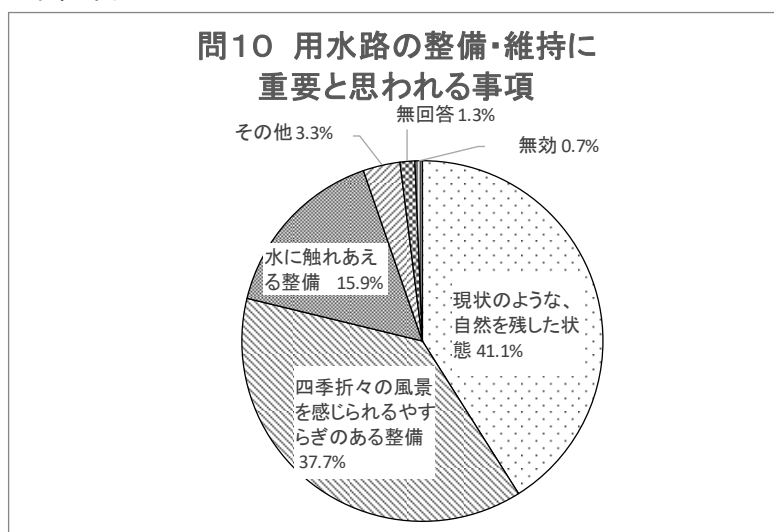


#### (4) 用水路の整備・維持に重要と思われる事項

問10 あなたは今後の用水路について、どのようなことを重視して整備、あるいは維持していくことがよいと思いますか？ 次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

1. 水に触れあえる整備
2. 四季折々の風景を感じられるやすらぎのある整備
3. 現状の用水路のように、自然を残した状態
4. その他 ( )

#### □単純集計



用水路の整備・維持において、重要と思われる事項は何かという設問に対しては「現状のような自然を残した状態」を望む意見が41.1%と最も多く、次いで、「四季折々の風景を感じられる安らぎのある整備」が続いている。

## 4. 沿道緑化についての考え方

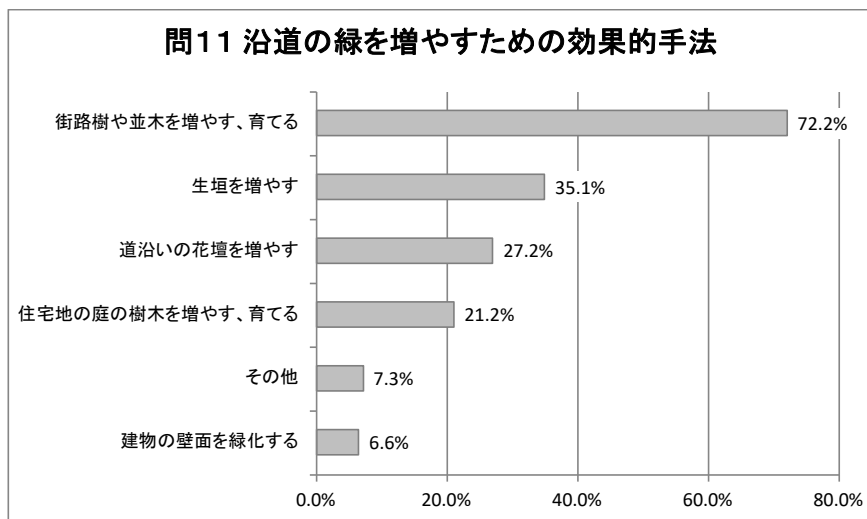
問11～17は、連続した緑を提供する沿道緑化について、どのように緑の量を増やしているのか、そして沿道緑化の一要素である街路樹の落ち葉清掃の取り組み方について把握する目的で設問を設けている。さらに小平市内のシンボリックな通りである「あかしあ通り」の緑化の進め方についての設問もここに設けている。

### (1) 沿道の緑を増やすための効果的手法

問11 緑が豊かになったと感じるには、道路沿いの緑を増やすことが効果的だといわれています。あなたは、どこの緑を増やすことが効果的だと思いますか？ 次の中から、あてはまるものを2つまで選んで、その数字に○をつけてください。

1. 生垣を増やす
2. 街路樹や並木を増やす、育てる
3. 住宅地の庭の樹木を増やす、育てる
4. 建物の壁面を緑化する
5. 道沿いの花壇を増やす
6. その他 ( )

#### □単純集計



沿道の緑を増やすためには、「街路樹や並木を増やす、育てる」という意見が最も多く、72.2%を占めている。次いで、生垣を増やすという意見が35.1%となっている。

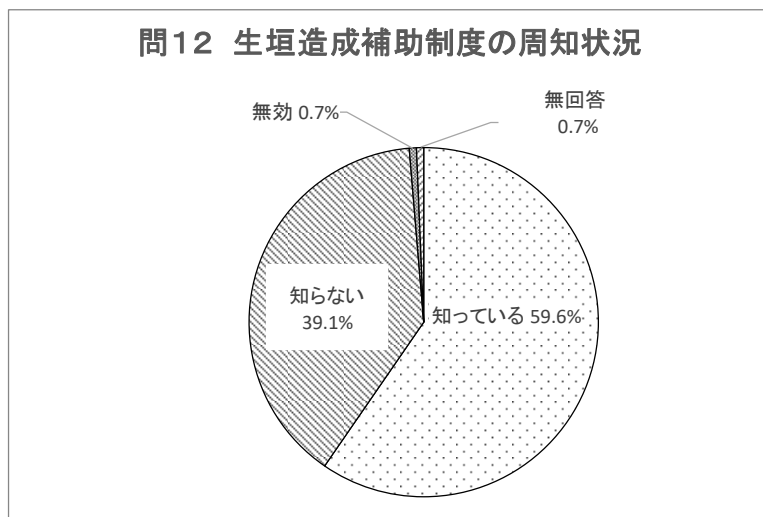
### (2) 生垣造成費補助制度についての周知状況

問12 小平市では、既存の塀の撤去と生垣の設置の費用の一部を助成する「生垣造成費補助制度」があります。あなたは、この制度について知っていますか？ 次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

※生垣造成費補助制度 緑豊かなうるおいとやすらぎのあるまちづくりを進めるために、市民の方が道路に接した敷地の部分に生け垣を新設する場合、一定の条件を満たしたのものについて、既存の塀の撤去と生垣の設置の費用の一部を助成するもの。

1. 知っている
2. 知らない

□単純集計



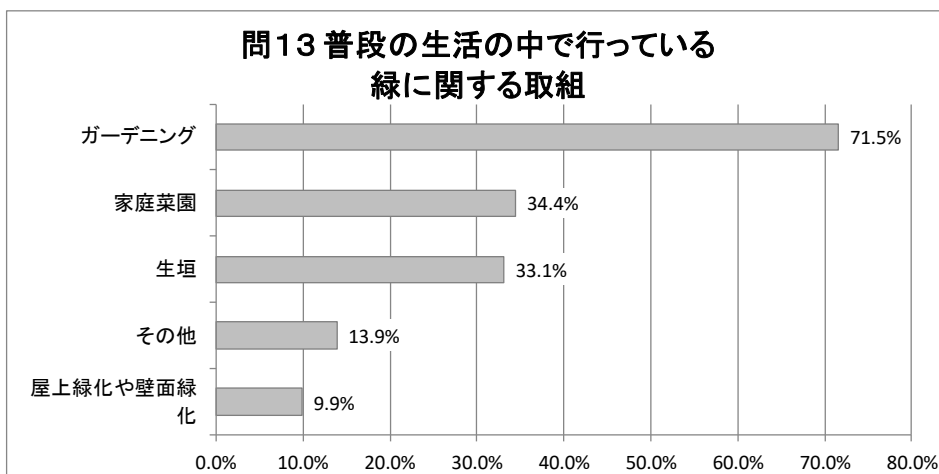
問11で35.1%が沿道緑化に必要であると答えた生垣の育成に係る補助制度の存在について、半数以上の59.6%、約6割が知っているという結果となった。一方、緑に関心の高い市民でも、まだ約4割弱の人が制度の存在を知らないということも言える。

(3) 普段の生活の中で行っている緑に関する取組

問13 お住まいの緑化等、普段の生活のなかで緑に関する取組を行っていますか？ あてはまるものをすべて選んで、回答欄に○をつけてください。

1. 生垣
2. ガーデニング
3. 家庭菜園
4. 屋上緑化や壁面緑化
5. その他 ( )

□単純集計



「普段の生活の中で行っている緑に関する取組」で最も割合が高かったものは、「ガーデニング」であり、71.5%を占めている。次いで「家庭菜園」、「生垣」が3割以上となっている。

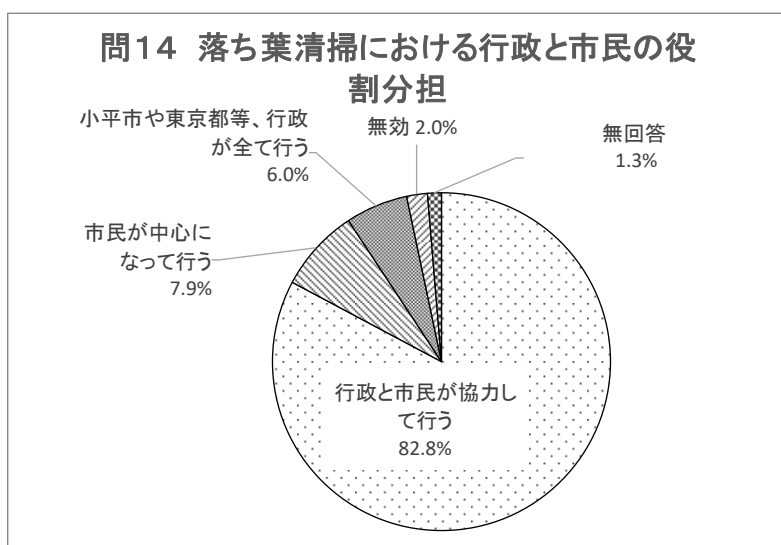
#### (4) 落ち葉清掃における行政と市民の役割分担

問14 街路樹の植樹等による緑化は大切なことですが、街路樹が大きくなると落ち葉が多くなるため、落葉期の落ち葉清掃には市民の協力が欠かせなくなることが考えられます。あなたは、落ち葉の清掃について行政と市民の役割をどのようにお考えですか？次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

1. 小平市や東京都といった行政がすべて行う
2. 行政と市民が協力して行う
3. 市民が中心になって行う

→ (問15をお答えください)

#### □単純集計



街路樹の落ち葉清掃は「行政と市民が協力して行う」ことを期待している意見が82%と高い割合を占めている。

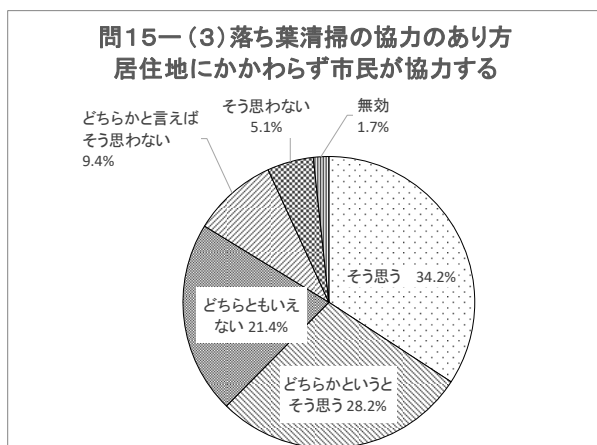
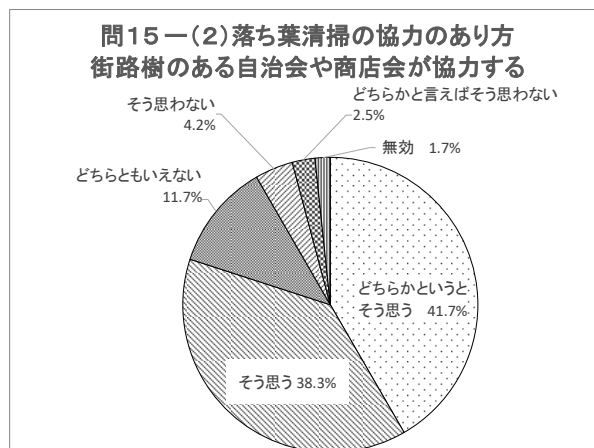
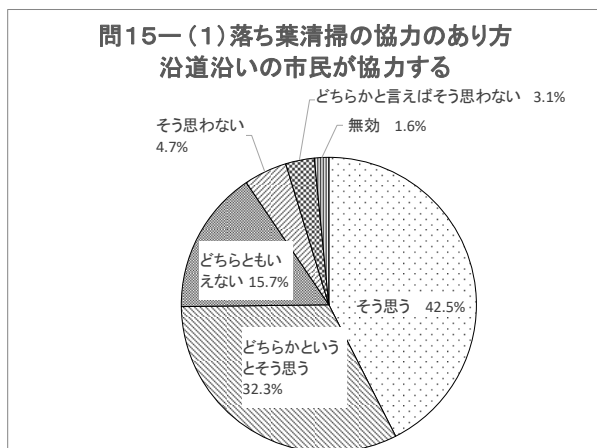
#### (5) 落ち葉清掃への市民の協力のあり方

※問14で「2. 行政と市民が協力して行う」または「3. 市民が中心になって行う」とお答えの方におたずねします。

問15 市民はどの程度清掃などに協力したらよいと思いますか？ 次の1～3について、あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 街路樹沿いの市民が協力する  
(1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらかと言えばそう思わない 4. そう思わない)
2. 街路樹のある自治会や商店会が協力する  
(1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらかと言えばそう思わない 4. そう思わない)
3. 居住地域にかかわらず、市民が協力する  
(1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらかと言えばそう思わない 4. そう思わない)

□単純集計



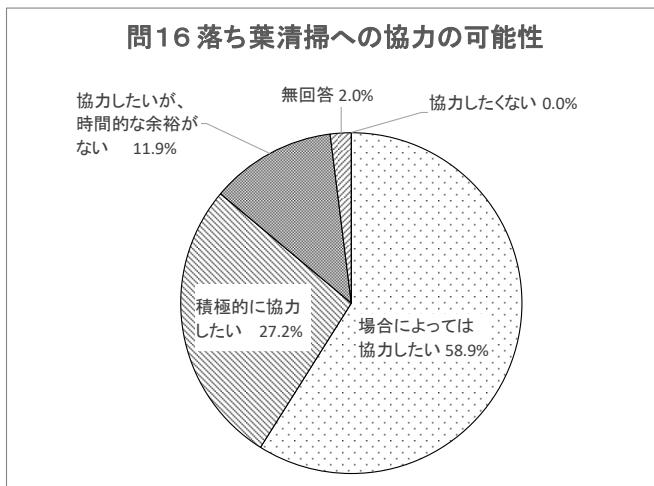
各設問について、「そう思う」と「どちらかという」との合計は、「問15（1）沿道沿いの市民が協力する」については74.8%、「問15（2）街路樹のある自治会や商店会が協力する」については80%、また「問15（3）居住地にかかわらず市民が協力する」については62.4%となり、いずれも高い割合となっている。

## (6) 落ち葉清掃への協力の可能性

問16 あなたは街路樹の落ち葉の清掃に協力することはできますか？次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

1. 積極的に協力したい
2. 場合によっては協力したい
3. 協力したいが、時間的な余裕がない
4. 協力したくない

### □単純集計



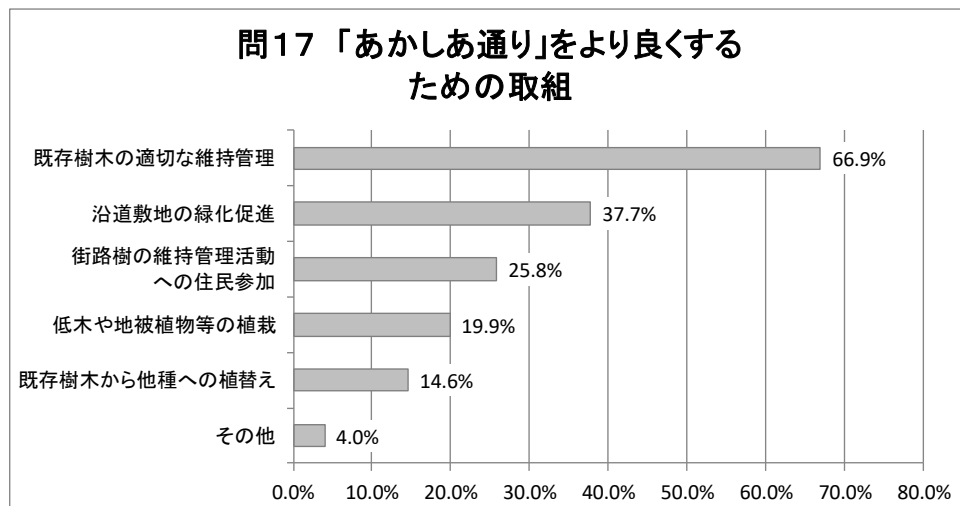
「積極的に協力したい(27.2%)」と「場合によっては協力したい(58.9%)」の合計は86.1%となっており、協力したいという意見が多い。

## (7) 「あかしあ通り」をより良くするための取組

問17 「あかしあ通り」は、小平駅を起点に狭山・境緑道と玉川上水緑道を南北につなぐ道路です。今後、この「あかしあ通り」をより良い道路にするにはどのような取組が必要だと思いませんか。次の中から、あてはまるものを2つまで選んで、その数字に○をつけてください。

1. 現在植栽されている樹木の剪定などによる適切な維持管理
2. 現在植栽されている樹木から他の樹種への植え替え
3. 低木や地被植物等の植栽
4. 沿道敷地の緑化促進
5. 街路樹の維持管理活動への住民参加
6. その他 ( )

□単純集計



あかしあ通りを良くするためには、「既存樹木の適切な維持管理」が 66.9%と最も多く、続いて「沿道敷地の緑化促進」が必要とする意見が 37.7%となっている。



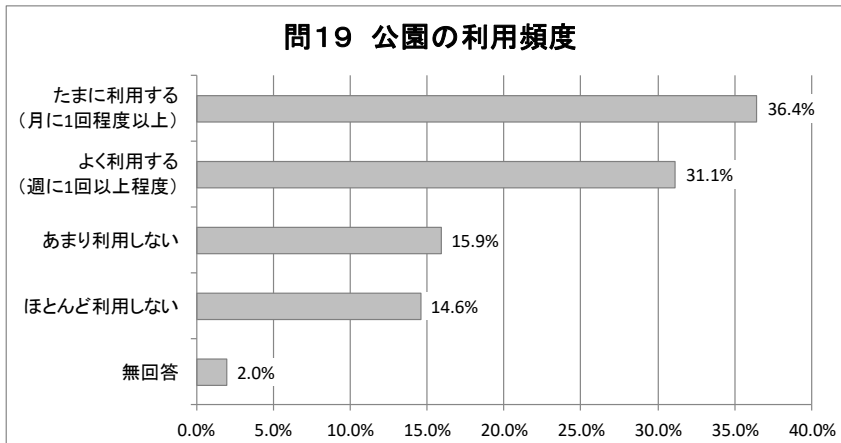


## (2) 公園の利用頻度

問19 あなたは、ふだん、公園をどの程度利用しますか？ 次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

1. よく利用する（週に1回以上程度）
  2. たまに利用する（月に1回程度以上）
  3. あまり利用しない
  4. ほとんど利用しない
- （問20をお答えください。）

### □単純集計



「たまに利用する（36.4%）」という回答が最も高く、次いで「よく利用する（31.1%）」となっており、両者を合わせると67.5%が比較的公園を利用している。一方、公園を「あまり利用しない」「ほとんど利用しない」の合計は30.5%となっている。

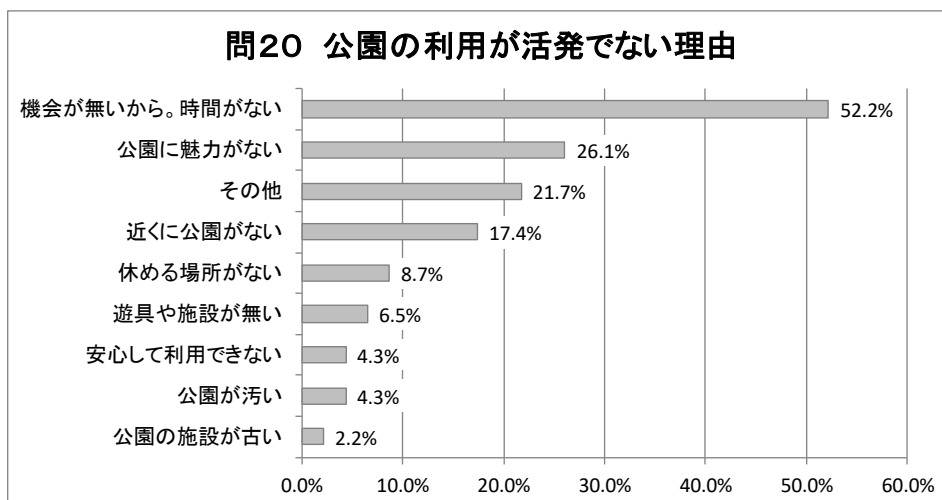
## (3) 公園の利用が活発でない理由

（問19で「3. あまり利用しない」または「4. ほとんど利用しない」とお答えの方におたずねします。）

問20 あなたが公園を「あまり利用しない」または「ほとんど利用しない」理由はどれですか？ 次の中から、あてはまるものをすべて選んで、回答欄の数字に○をつけてください。

1. 近くに公園がないから
2. 機会が無いから。時間がないから
3. 安心して利用できないから
4. 遊具や施設が無いから
5. 休める場所がないから
6. 公園の施設が古いから
7. 公園が汚いから
8. 公園に魅力がないから
9. その他（ ）

□単純集計



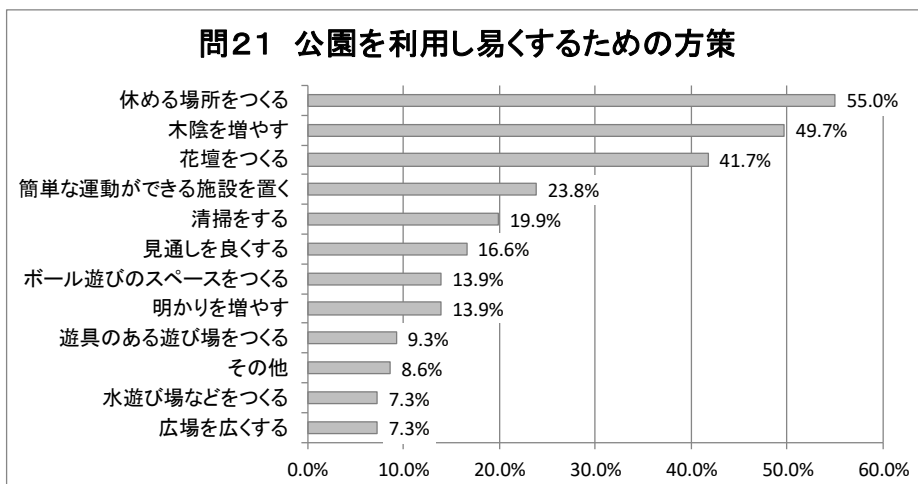
問19で、公園を「あまり利用しない」「ほとんど利用しない」と回答した約3割の人に、利用しない理由を質問した結果、約半数の52.2%が「機会が無いから。時間がないから」という理由をあげている。問18の公園の利用目的で一番多かった回答が「子どもや孫の遊び場として」であったことや、70-79歳代の回答者が最も多かったことを考慮すると、子どもや孫が成長し、公園に行く機会が減ったのではないかと推測される。

(4) 公園を利用しやすくするための方策

問21 小平市では、利用しやすい公園にするために、できることから公園のリニューアル（再整備）を進めています。あなたは、今ある公園を利用しやすくするには、どうしたらよいと思いますか？次の中から、あてはまるものを3つまで選んで、その数字に○をつけてください。

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 草花を觀賞する花壇をつくる     | 2. 木陰を増やす            |
| 3. 休める場所をつくる         | 4. 遊具のある子どもの遊び場をつくる  |
| 5. 水遊び場などをつくる        | 6. ポール遊びのできるスペースをつくる |
| 7. 誰でも簡単な運動ができる施設を置く | 8. 見通しを良くする          |
| 9. 明かりを増やす           | 10. 清掃をする            |
| 11. 広場を広くする          | 12. その他 ( )          |

□単純集計



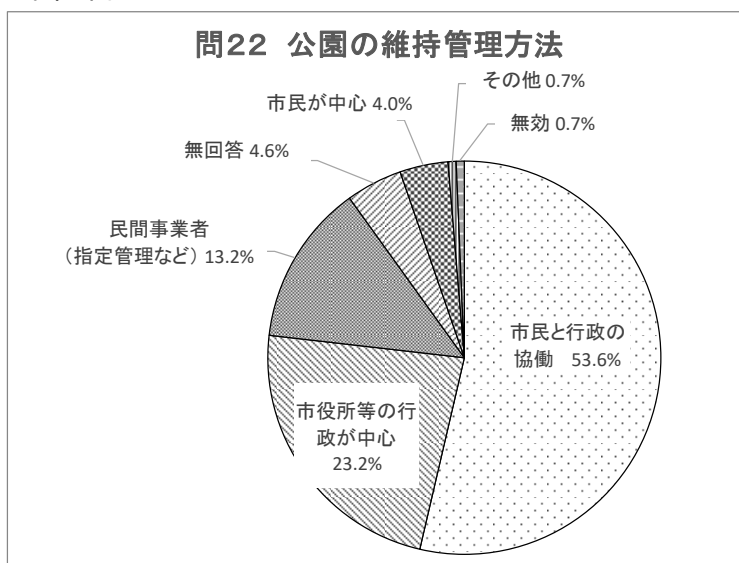
公園を利用しやすくするために「休める場所をつくる (55.0%)」、「木陰を増やす (49.7%)」、「花壇をつくる (41.7%)」の3項目の割合が高かった。

(5) 公園の維持管理方法

問22 小平市には約300箇所の公園があります。公園の管理方法としてどのような方法が良いと思いますか？ 次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

1. 市役所等の行政が中心となって管理を行う
2. 市民が中心となって管理を行う
3. 指定管理者制度等により民間事業者が管理を行う
4. 市民と行政の協働により管理を行う
5. その他 ( )

□単純集計



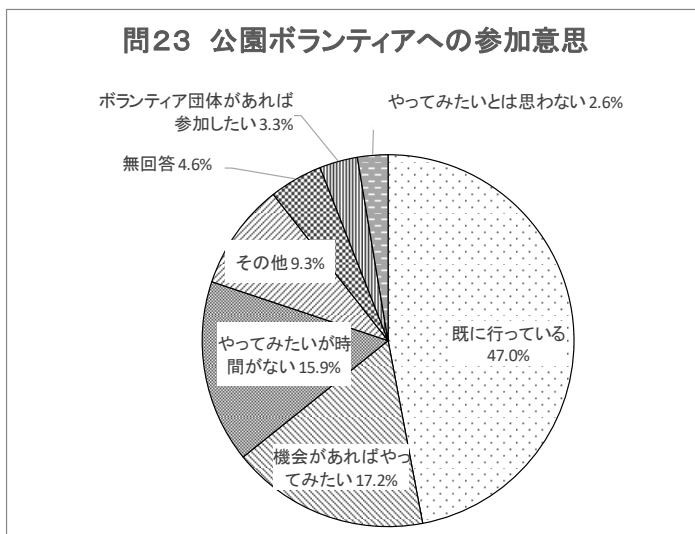
公園の維持管理をどのように進めていく方が良いのかという質問に対して「市民と行政の協働 (53.6%)」が最も高かった。

## (6) 公園ボランティアへの参加意思

問23 小平市には公園に花を植えたり清掃をするボランティア制度があり、約120人が登録しています。また、いくつかの公園や用水では、ボランティア団体が自主的にこのような活動を行っています。小平市の各公園でこのようなボランティア団体を結成して活動を行うとしたら、あなたは参加したいと思いますか？次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

1. 既に自主的にやっている
2. ボランティア団体があれば参加したい
3. 機会があればやってみたい
4. やってみたいが時間がない
5. やってみたいとは思わない
6. その他 ( )

### □単純集計



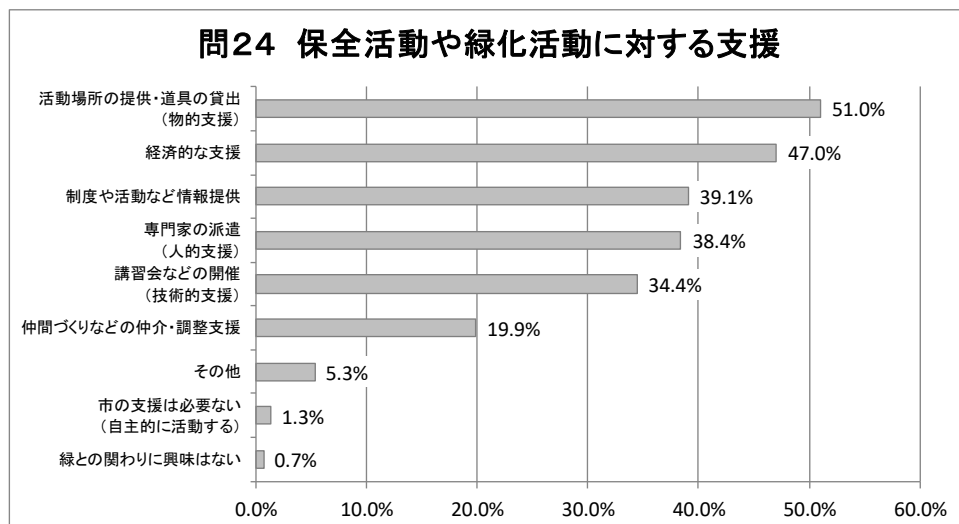
公園ボランティアへの参加意思については、「既に行っている（47.0%）」の回答が最も多く、次いで「機会があればやってみたい（17.2%）」という結果になっており、ボランティアへの参加意思は総じて高いということがうかがえる。

## (7) 保全活動や緑化活動に対する支援

問24 あなたが緑の保全活動や緑化活動などに参加する場合、市に特に支援してほしいことは何ですか？次の中から、あてはまるものを3つまで選んで、その数字に○をつけてください。

1. 活動の助言や指導を行う専門家の派遣（人的支援）
2. 活動場所の提供や道具の貸し出し（物的支援）
3. 助成など経済的な支援
4. 講習会や勉強会などの開催（技術的支援）
5. 制度や活動などの情報提供
6. 仲間づくりなどの仲介・調整支援
7. 市の支援は必要ない（自主的に活動する）
8. 緑との関わりに興味はない
9. その他 ( )

□単純集計



緑に関する活動に対して希望する支援内容で一番高い割合の回答が、「活動場所の提供や道具の貸出（物的支援）」で 51.0%となっており、次いで「経済的な支援」が 47.0%となっている。

## 6. 生物多様性に対する考え方

問 25～27 は、生物多様性についてどの程度周知されているのか、どのような活動を行っているのか、どのような取組を行うことが生物多様性保全につながるのかといった点を把握するために設けた。

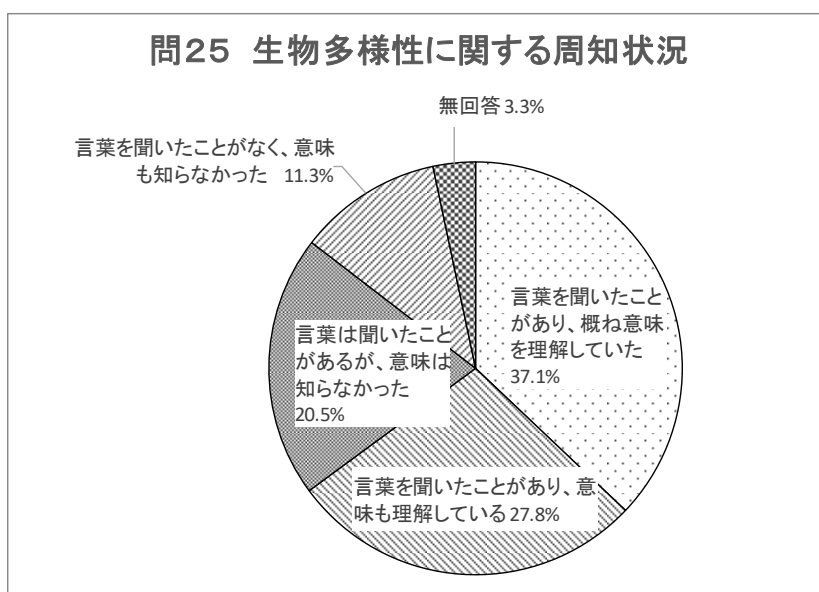
### (1) 生物多様性に関する周知状況

問 25 生物多様性について、その言葉や意味を知っていますか？あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

※生物多様性 遺伝子・種・生態系の3つのレベルでの多様性のことであり、私たちの暮らしは、生物多様性からさまざまな恵みを受け、成り立っている。

1. 言葉を聞いたことがあり、意味も理解している
2. 言葉を聞いたことがあり、概ね意味を理解していた
3. 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らなかった
4. 言葉を聞いたことがなく、意味も知らなかった

#### □単純集計



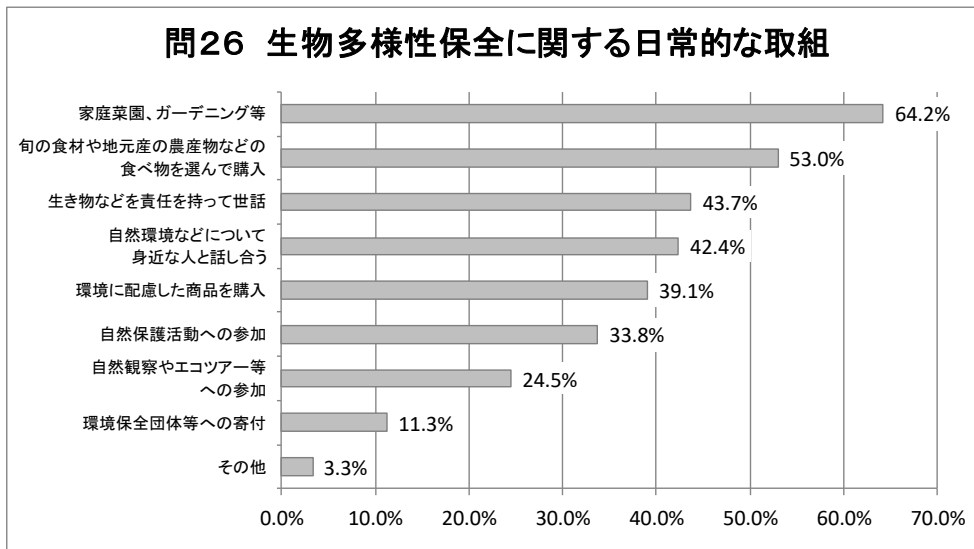
最も多いのが、「言葉を聞いたことがあり、概ね意味を理解していた (37.1%)」という回答で、これに続く、「言葉を聞いたことがあり意味も理解している (27.8%)」と合わせると、約 65%が生物多様性について、理解しているということになる。

## (2) 生物多様性保全に関する日常的な取組

問26 以下の内容は、生物多様性の保全につながる行動です。日頃から心がけていたり実践したりしていることはありますか？あてはまるものを全て選んで、その数字に○をつけてください。

1. エコマーク付き商品など環境に配慮した商品を選んで購入するようにしている
2. 自然環境や生き物などについて家族や友人と話し合うようにしている
3. 自然観察やエコツアー等に参加し、自然と積極的に触れ合うようにしている
4. 樹林の保全活動に参加したり、海辺や川、公園でのごみ拾いなどの自然保護活動に参加している
5. 自然保護活動を行っている環境保全団体等に寄付をしている
6. 旬の食材や地元産の農産物などの食べ物を選んで購入するようにしている
7. 生き物などを最後まで責任を持って世話をしている
8. 家庭菜園作り、ガーデニング、緑のカーテン作りなどを行っている
9. その他（ ）

### □単純集計



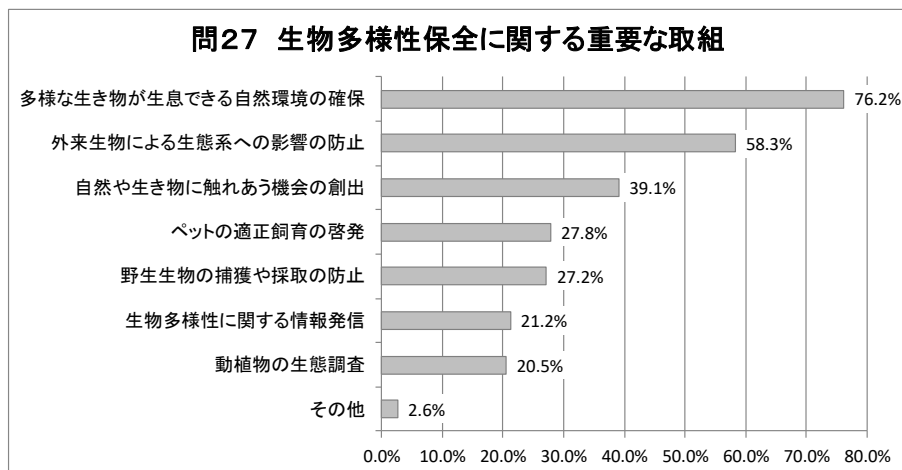
「家庭菜園作り、ガーデニング、緑のカーテン作り（64.2%）」といった取組を通じて生物多様性保全に貢献しているという意見が最も多く、続いて「旬の食材や地元産の農産物などの食べ物を選んで購入している（53.0%）」、「生き物などを最後まで責任をもって世話をする（43.7%）」、「自然環境などについて家族や友人と話し合う（42.4%）」の割合が4割以上と高い割合を占めている。

### (3) 生物多様性保全に関する重要な取組

問27 生物多様性を保全していく上でどのような取組が、特に重要だと考えますか？あてはまるものを3つまで選んで、その数字に○をつけてください。

1. 多様な生き物が生息できる自然環境の確保
2. むやみな野生生物の捕獲や採取の防止
3. 外来生物による生態系への影響の防止
4. 自然や生き物に触れあう機会の創出
5. 生物多様性に関する情報発信
6. ペットの適正飼育の啓発
7. 動植物の生態調査
8. その他 ( )

#### □単純集計



最後に、生物多様性保全のために取り組む必要がある重要事項としてあげられている意見は、「多様な生き物が生息できる自然環境の確保 (76.2%)」が最も高く、次いで「外来生物による生態系への影響の防止 (58.3%)」となっている。



## 7. 自由回答

自由記入欄への書き込みは回収数 151 件中 79 件で、回答内容を分類すると、以下の 11 項目になる。

### (1) みどりの維持管理

「貴重な野草ごと草を刈られてしまった」、「樹木の強剪定が目立つ」といった公共空間のみどりの維持管理に関して、より一層の質の向上を求める意見があった。

### (2) 用水路や緑道の維持

市内を流れる玉川上水や野火止用水等の用水路及びこれに沿った緑道については「小平市の最大の宝」、「緑のネットワークが形成されている」「ここがあるから緑や環境が守られている」等といった意見が多数あった。

また、「用水路の流れを止めないでほしい」、「緑のネットワークを分断するような開発はやめてほしい」という意見や、「(土地の所有者が) もし売却を考えているなら公共機関に売却してほしい」といった今後の用水路を危惧する意見があり、市民が用水路や緑道を大切にしたいと考えていることが伺えた。

### (3) 担い手の育成

「みどりの活動に関わっていたが、高齢により活動が難しくなってきた」という意見が見受けられた。また、「緑の維持管理に関わる市民の参加を促す必要がある」という意見が多かった。担い手が充実するには、例えば「果実や花など収穫物を配分できるような植物を育てる」「小中学校との連携」「ガールスカウト・ボーイスカウトに声を掛ける」「活動団体への助成金があるとよい」という意見が見られた。

### (4) 農地の減少

「農地をこれ以上減らさない」、「農地がどんどん宅地化されている」といった農地の減少を危惧する意見がみられた。「相続対策で農家が土地を売らずに済むような対策を」、「ボランティアや専門家が参加して、作物は販売し維持費にあてるといった工夫で、農業公園にすることはできないか?」という意見があった。

### (5) 雑木林の減少

かつての里山の風景を形成する「屋敷林」「雑木林」の減少、またこれらの減少によって、雑木林を生育環境としている動植物がいなくなってしまうことを危惧する意見が見られた。これ以上雑木林の減少を防ぐため「中央公園の雑木林を壊して道路にしないでください」といった意見が見られた。

### (6) 宅地化の進行

上記の(4)と(5)が引き起こされる原因の一つとして、宅地化が進行、しかも緑のスペースがほとんどないような宅地が増えていることに危機感を持っている意見があった。「これか

ら人口も減っていくのに宅地開発によって既存の緑が減り、且つ、空き家が増えていく」と今後について危惧する声がある一方、「農地の減少を食い止めるのは困難。であれば個人宅の緑を充実する方向で緑を増やすとよいのではないか」そのためには「垣根の作り方やガーデニングの方法などのレクチャーを開催するとよいのではないか」という意見が見られた。

### (7) 自然災害の影響

近年の大型台風の到来、及びこれにより引き起される被害の大きさを踏まえ、「自宅近くの高木が倒木するかもしれないので適切な維持管理を望む」、「大雨による冠水被害を防ぐため排水路への落ち葉対策」という意見があった。

### (8) 緑地等におけるマナー

「樹林地内にゴミが捨てられている」、「花壇で育てている花を盗まれる」、「保護している野草（キンラン・ギンラン）が盗掘される」といった緑地等におけるマナーの悪さを指摘する意見が見られた。

### (9) みどりについてのPR

「“水と緑と公園課”の存在を知らない人が多い」、「ボランティア情報にアクセスしにくい」、「小平市の宝である緑について周知することが必要」、「緑のまち小平を広く知ってほしい」といった理由から、PR・広報の必要性を求める意見が多く見られた。「公民館に生物多様性講座をつくる」、「樹名板を設置する」、「用水路の歴史の宣伝」、「用水路マップの作成」といったことが具体策としてあげられている。

### (10) 調査・計画策定

生物多様性の推進のため「生物の実態調査（植物、昆虫、鳥類、魚類、水生生物、動物など個々に）を5年に1回程度行う」、「街中に水路があり、水生生物にはめぐまれた環境。魚だけではなく、水生昆虫も同定できるような所に調査を依頼してほしい」といった意見があった。また、調査を踏まえて「生物多様性地域戦略を策定してほしい」という意見も見られた。

### (11) その他

「ハクビシンなどの外来種の駆除」、「遊具をなくす、小さい公園をまとめるなどをして、原っぱのような公園があるとよい」、「個人宅の生垣や植栽の手入れをきちんとしてもらうように呼びかけてほしい」という意見が複数あった。

## 8. アンケート調査票

### 小平市のみどりに関するアンケートご協力をお願い

皆様には、日頃より小平市のみどりのまちづくりに向けた活動にご尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび小平市では「小平市みどりの基本計画」の改定にともない、新たな計画が、より市民意識を反映したものとなるよう、小平市のみどりに関する皆様を対象に「みどりに関するアンケート」を下記のとおり実施させていただくこととなりました。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、より良いみどり施策実施のため、皆様にご協力をいただきたく存じます。

なお、団体構成員の方につきましては、所属されております貴団体に事前にご了解を得て実施しておりますが、不明点等ございましたらお手数ですが下記問合せ先にご連絡願います。

回答期限: 令和元年11月15日(金曜日)まで

回答方法: 同封の返信用封筒にて返送してください。

その他: 返送された回答用紙は厳重に管理するとともに、個人の調査結果はみどりの基本計画策定以外の目的には利用いたしません。

令和元年10月

#### 【ご記入にあたってのお願い】

1. このアンケートは、無記名です。
2. 回答はご本人がご記入ください。ご本人が記入できない場合は、ご家族の方による記入でも結構です。
3. 質問は、全部で○問あります。ご記入には、濃いえんぴつ、黒や青のボールペンをご使用ください。
4. 回答は、質問の選択肢の中から選んで「○をつける」または「回答欄に記入」して、ご回答ください。
5. 最後に自由記入欄を設けていますが、設問ごとにご意見があれば、余白にご記入いただいても結構です。
6. アンケートの結果は、市の広報やホームページでの公表を予定しています。

お問い合わせ先

小平市小川町2丁目1333番地

小平市役所 環境部水と緑と公園課

緑化推進担当

電話042(346)9830

問1 はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

(1) あなたの性別について、該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 男	2. 女
------	------

(2) あなたの年齢について、該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 19歳以下	2. 20～29歳	3. 30～39歳
4. 40～49歳	5. 50～59歳	6. 60～69歳
7. 70～79歳	8. 80歳以上	

(3) あなたのお住まいの地域をご記入ください。

小平市	町	丁目
-----	---	----

(4) あなたの職業について、該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 会社員、公務員、団体職員など	2. 自営業、自由業
3. 農業	4. パート、派遣社員、アルバイトなど
5. 家事専業（主婦・主夫）	6. 学生
7. 無職（年金生活者含む）	8. その他（ ）

(5) あなたのお住まいの形態について、該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 一戸建ての持ち家	2. 一戸建ての賃貸
3. マンション・アパートの持ち家	4. マンション、アパートの賃貸
5. 公営住宅（市営、都営、公社、UR）	6. 社宅、寮、公務員住宅
7. その他（ ）	

(6) あなたは小平市に何年お住まいですか。該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 1年未満	2. 1年以上5年未満	3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満	5. 20年以上30年未満	6. 30年以上



問4 ここ10年くらいで小平市の緑は増えてきていると思いますか？  
次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

1. 増えた
2. やや増えた
3. あまり変化がない
4. やや減った
5. 減った

問5 小平市の緑に対して、今後どのようなことを特に望みますか？  
次の中から、あてはまるものを3つまで選んで、その数字に○をつけてください。

1. 鳥類や昆虫など生物のすみかとなること
2. 都市の気温や空気などの環境を調整すること
3. 都市の季節感や、風格を与えること
4. 緑豊かな小平市をアピールするような景観をつくること
5. 身体健康づくりや、心の安らぎの場となること
6. 交流やレクリエーションなどの活動の場となること
7. 地震による建物の倒壊を防止したり、火災による延焼を遅延・防止すること
8. 災害時の避難路や避難地となること
9. その他 ( )

問6 小平市全体の緑について、あなたはどのように思いますか？  
次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

1. 満足
2. やや満足
3. 普通
4. やや不満
5. 不満

問7 小平市では一定の要件を満たした樹木や樹林等を保存樹木や保存樹林等として指定し、緑を保護しています。あなたは、保存樹木や保存樹林等について、どのようにしたらよいと思いますか？

次の中から、あなたの考えに最も近い数字を1つ選んで、その数字に○をつけてください。

※保存樹木 個人が所有している樹木のうち幹周り 1.5m以上あり高さ15m程度以上のものを対象

※保存樹林 個人が所有している樹林で、面積が330㎡以上のものを対象

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 制度を継続して、緑を保護していく            |
| 2. 要件を緩和して、より多くの樹木等を指定し保護していく  |
| 3. 要件を厳しくして、厳選されたもののみ指定し保護していく |
| 4. 制度がなくても緑の保護は可能なので制度は不要である   |
| 5. その他 ( )                     |

問8 小平市には、数多くの農地が点在しています。この農地のあり方として、あなたの考えに一番近いものは何ですか？

次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 市民農園や農業公園、体験農園などとして、市民や観光客等の利用を促進しながら保全活用する |
| 2. 行政支援などによる農業振興を図りながら、可能な限り農地を保全する            |
| 3. 援農ボランティアなど市民等による支援を図りながら農地を保全する             |
| 4. 公園等の公共施設の用地として活用する                          |
| 5. その他 ( )                                     |

問9 小平市内には多くの用水路があり、市では用水路を大切な環境資源として位置づけております。用水路の総延長は約48.9kmとなっており、このうち約33kmにおいて現在も水が流れています。小平市の用水路を保全していくにあたり、限られた予算のなかでは、維持管理や更なる流水の確保などの課題があります。

あなたは、用水路を継続して保全していくためには、どのような考え方で進めていくことがよいと思いますか？

次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 全ての用水路を保全する                          |
| 2. 流水のある用水路のみ保全し、流水のない用水路については売却などを検討する |
| 3. 代表的な用水路のみ保全し、その他の用水路については売却などを検討する   |
| 4. その他 ( )                              |

問10 あなたは今後の用水路について、どのようなことを重視して整備、あるいは維持していくことがよいと思いますか？

次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 水に触れあえる整備</li><li>2. 四季折々の風景を感じられるやすらぎのある整備</li><li>3. 現状の用水路のように、自然を残した状態</li><li>4. その他 ( )</li></ol> |
|--|

問11 緑が豊かになったと感じるには、道路沿いの緑を増やすことが効果的だといわれています。

あなたは、どこの緑を増やすことが効果的だと思いますか？

次の中から、あてはまるものを2つまで選んで、その数字に○をつけてください。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 生垣を増やす</li><li>2. 街路樹や並木を増やす、育てる</li><li>3. 住宅地の庭の樹木を増やす、育てる</li><li>4. 建物の壁面を緑化する</li><li>5. 道沿いの花壇を増やす</li><li>6. その他 ( )</li></ol> |
|--|

問12 小平市では、既存の塀の撤去と生垣の設置の費用の一部を助成する「生垣造成費補助制度」があります。

あなたは、この制度について知っていますか？

次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

※生垣造成費補助制度 緑豊かなうるおいとやすらぎのあるまちづくりを進めるために、市民の方が道路に接した敷地の部分に生け垣を新設する場合、一定の条件を満たしたものについて、既存の塀の撤去と生垣の設置の費用の一部を助成するもの。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 知っている</li><li>2. 知らない</li></ol> |
|--|





問16 あなたは街路樹の落ち葉の清掃に協力することはできますか？

次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

1. 積極的に協力したい
2. 場合によっては協力したい
3. 協力したいが、時間的な余裕がない
4. 協力したくない

問17 「あかしあ通り」は、小平駅を起点に狭山・境緑道と玉川上水緑道を南北につなぐ道路です。今後、この「あかしあ通り」をより良い道路にするにはどのような取組が必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものを2つまで選んで、その数字に○をつけてください。

1. 現在植栽されている樹木の剪定などによる適切な維持管理
2. 現在植栽されている樹木から他の樹種への植え替え
3. 低木や地被植物等の植栽
4. 沿道敷地の緑化促進
5. 街路樹の維持管理活動への住民参加
6. その他( )

問18 あなたのお住まいの場所に最も近い公園について、主にどういった目的で利用しますか？次の中から、あてはまるものを3つまで選んで、その数字に○をつけてください。

1. 自分の休憩・休息のため
2. 子どもや孫の遊び場として
3. 体操やウォーキングなど健康増進のため
4. 球技などのスポーツをするため
5. 鳥や昆虫などの生物を観察するため
6. 景色を楽しむため
7. 家族や友達などとレクリエーションを楽しむため
8. 各種の行事やイベントに参加したり、開催したりするため
9. 地域による公園管理にボランティアとして参加するため
10. その他( )

問19 あなたは、ふだん、公園をどの程度利用しますか？

次の中から、あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

- |                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| 1. よく利用する（週に1回以上程度）  |                          |
| 2. たまに利用する（月に1回程度以上） |                          |
| 3. あまり利用しない          | <input type="checkbox"/> |
| 4. ほとんど利用しない         | <input type="checkbox"/> |
- （問20をお答えください。）

（問19で「3. あまり利用しない」または「4. ほとんど利用しない」とお答えの方におたずねします。）

問20 あなたが公園を「あまり利用しない」または「ほとんど利用しない」理由はどれですか？

次の中から、あてはまるものをすべて選んで、回答欄の数字に○をつけてください。

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 近くに公園がないから   | 2. 機会が無いから。時間がないから |
| 3. 安心して利用できないから | 4. 遊具や施設が無いから      |
| 5. 休める場所がないから   | 6. 公園の施設が古いから      |
| 7. 公園が汚いから      | 8. 公園に魅力がないから      |
| 9. その他（         | ）                  |

問21 小平市では、利用しやすい公園にするために、できるところから公園のリニューアル（再整備）を進めています。

あなたは、今ある公園を利用しやすくするには、どうしたらよいと思いますか？

次の中から、あてはまるものを3つまで選んで、その数字に○をつけてください。

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 草花を観賞する花壇をつくる     | 2. 木陰を増やす            |
| 3. 休める場所をつくる         | 4. 遊具のある子どもの遊び場をつくる  |
| 5. 水遊び場などをつくる        | 6. ボール遊びのできるスペースをつくる |
| 7. 誰でも簡単な運動ができる施設を置く | 8. 見通しを良くする          |
| 9. 明かりを増やす           | 10. 清掃をする            |
| 11. 広場を広くする          |                      |
| 12. その他（             | ）                    |



問25 生物多様性について、その言葉や意味を知っていますか？

あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

※生物多様性 遺伝子・種・生態系の3つのレベルでの多様性のことであり、私たちの暮らしは、生物多様性からさまざまな恵みを受け、成り立っている。

1. 言葉を聞いたことがあり、意味も理解している
2. 言葉を聞いたことがあり、概ね意味を理解していた
3. 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らなかった
4. 言葉を聞いたことがなく、意味も知らなかった

問26 以下の内容は、生物多様性の保全につながる行動です。日頃から心がけていたり実践したりしていることはありますか？

あてはまるものを全て選んで、その数字に○をつけてください。

1. エコマーク付き商品など環境に配慮した商品を選んで購入するようにしている
2. 自然環境や生き物などについて家族や友人と話し合うようにしている
3. 自然観察やエコツアー等に参加し、自然と積極的に触れ合うようにしている
4. 樹木の保全活動に参加したり、海辺や川、公園でのごみ拾いなどの自然保護活動に参加している
5. 自然保護活動を行っている環境保全団体等に寄付をしている
6. 旬の食材や地元産の農産物などの食べ物を選んで購入するようにしている
7. 生き物などを最後まで責任を持って世話をしている
8. 家庭菜園作り、ガーデニング、緑のカーテン作りなどを行っている
9. その他（ )

問27 生物多様性を保全していく上でどのような取組が、特に重要だと考えますか？

あてはまるものを3つまで選んで、その数字に○をつけてください。

1. 多様な生き物が生息できる自然環境の確保
2. むやみな野生生物の捕獲や採取の防止
3. 外来生物による生態系への影響の防止
4. 自然や生き物に触れあう機会の創出
5. 生物多様性に関する情報発信
6. ペットの適正飼育の啓発
7. 動植物の生態調査
8. その他（ )



## 市民アンケート調査

---

# I 調査概要

---

## 1. 調査の目的

小平市みどりの基本計画の改定の基礎資料とするため、市民の環境に関する意識・実態を調査する。

## 2. 調査概要

### (1) 調査概要

#### ①調査対象

令和元年度こだいら環境フェスティバルに来場している方々

・問1 167件                      ・問2 161件

#### ②調査方法

来場者に直接調査（シールアンケート）

#### ③調査場所

小平市中央公園

#### ④調査期間

令和元年 9 月 7 日

### (2) 調査項目

1. 小平市のみどりの満足度
2. みどりの維持について市民と行政の関わり方



## Ⅱ. 調査結果

### 1. 小平市のみどりの満足度

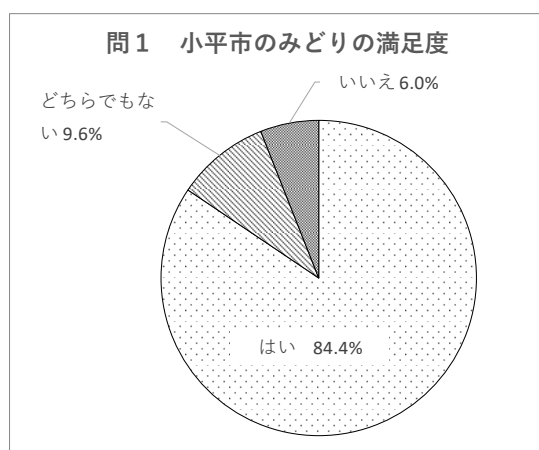
問1 小平市のみどりに満足していますか

1. はい

2. いいえ

3. どちらでもない

□単純集計



8割以上が「はい」と回答しており、大部分の方が小平市のみどりに満足していることがうかがえる。

### 2. みどりの維持についての市民と行政の関わり方

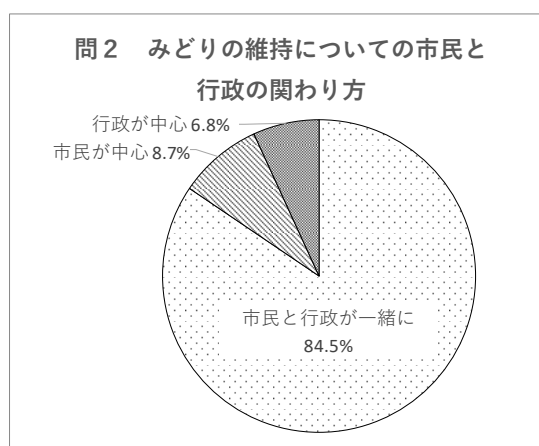
問2 小平市のみどりを守っていくには・・・

1. 「市民が中心」で取り組むのが良い

2. 「行政が中心」で取り組むのが良い

2. 「市民と行政が一緒に」取り組むのが良い

□単純集計



8割以上の方が「市民と行政と一緒に取り組むのが良い」と回答しており、協働しながらみどりを守っていくのが望ましいという意見が多かった。「市民が中心」「行政が中心」と回答した方も少数いた。